



## 読書界 1月号

### テーマ 「ぞつとする話」

#### 『向日葵の咲かない夏』 道尾秀介 新潮社

「僕は殺されたんだ」 一学期の終業式の日に首を吊って死んだS君は、蜘蛛に生まれ変わって主人公のミチオの元に現れ、そう訴える。妹のミカと共に犯人を探すミチオだが・・・。消えたS君の死体、町で多発する足を折られた犬猫の死骸、まさしく陰惨な「夏の狂気」としか言えないものが五感を通して私たちにまとわりついてくる。目の前に確かにあったはずの世界がだんだん狂い始め、崩れていく恐怖を、ぜひ一度読んで味わってみて欲しい。

1年

#### 『姑獲鳥の夏』 京極夏彦 講談社

舞台は戦後、連続して嬰児死亡事件が発生し奇怪な噂の絶えない病院で、主人公の旧友が失踪した。その事件によって露わになる過去の悲劇が主人公の過去と結びつき、事件は進行していく。靈や宗教は否定せず、有り得ないことは起こらないという哲学的な信念の下、事件と向き合っていくスタイルが独特な、オカルト要素も含まれる大作です。

1年

#### 『シャイニング』 スティーブン・キング 文春文庫

小説家志望の元教師であるジャックと妻のウェンディ、息子のダニー。彼らは、コロラド山中にある、冬の間は閉鎖されているオーバールックホテルに管理人としてやってきた。しかし、過去に惨劇の舞台となっていて、今でも亡霊が彷徨っているこのホテルで怪奇現象が彼らを襲う。狂気に侵されていく心理描写は非常に緻密で巧みであり、読者を恐怖の底に突き落とす。

2年

#### 『記憶屋』 織守きょうや 角川ホラー文庫

都市伝説を、あなたは信じますか？ この物語は「記憶屋」という都市伝説を巡るお話です。主人公である遼一の周りの人たちが、次々と記憶をなくし、遼一は記憶屋について追っていきます。自分を苦しめる記憶を消してしまうのは、本当に正しいことなのか。そして、最後に明かされる記憶屋の正体とは。第22回日本ホラー小説大賞読者賞を受賞した、シリーズ作。ぜひ、1, 2, 3巻+スピンオフまで読んでみてください。

2年



図書館蔵書のリクエストは、1月21日(木)が締切です。

読みたい本、おすすめの本を、ぜひリクエストしてください。

←Google フォームでも受け付けています。